

令和3年度(2021年度)農業研究成果情報一覧表

No	表題	担当	
		研究所名	研究室名
959	水稲「くまさんの輝き」の普通期標肥栽培では栽植密度による収量・品質の変動は小さい	農産園芸	作物
960	イチゴ「ゆうべに」の頂花房と第1次腋花房の花房間葉数は4枚程度が収量が安定する	農産園芸	野菜
961	イチゴ「ゆうべに」は中間地において9月18日から9月21日を目安に定植する	農産園芸	野菜
962	トマトの促成長期栽培における増枝後の適正本数と開始時期	農産園芸	野菜
963	ナス「PC筑陽」の促成栽培で2本仕立てと炭酸ガス施用の組み合わせは増収効果が高い	農産園芸	野菜
964	ナス「PC筑陽」「筑陽」の個葉の光合成速度に与える光、温度、炭酸ガス濃度の影響	農産園芸	野菜
969	湿地性カラー「熊本FC01」の採花本数は周長8.5cm以上の仮軸を増やすことで増える	農産園芸	花き
970	トルコギキョウ育苗における種子冷蔵処理と育苗時の温度および底面給水水位の影響	農産園芸	花き
971	蒸し製緑茶製造ラインを活用した新たなCTC緑茶製造方法	茶業	-
972	低温嫌気処理によるγ-アミノ酪酸高含有てん茶の製造技術	茶業	-
973	茶樹における農業用ドローンを用いた散水の作業時間および葉面への付着状況	茶業	-
974	阿蘇地域で多収が得られる糯性大麦品種「ホワイトファイバー」の特性	高原	-
975	水稲における高密度播種と育苗箱全量施肥栽培を組み合わせた省力技術	生産環境	土壌環境
976	アスパラガス栽培における被覆尿素肥料を用いた環境負荷を低減する施肥技術	生産環境	土壌環境
977	自動施肥播種設備利用における水稲育苗箱全量施肥作業の最適化	生産環境	土壌環境
978	キャベツ根こぶ病抵抗性品種「YCRこんごう」は高菌密度土壌でも発病抑制効果が高い	生産環境	病害虫
979	キャベツ根こぶ病は高菌密土壌で発病が多くなり、pH7.0以上で発病が抑制される	生産環境	病害虫
980	殺虫剤へのアセチル化グリセリド乳剤の加用はウリ類退緑黄化ウイルスの感染を抑制する	生産環境	病害虫
981	飼料用トウモロコシでのツマジロクサヨトウの食害リスクは播種から40日間が高い	生産環境	病害虫
982	搾乳ロボットによるP4濃度測定は発情発見精度を高め、繁殖成績の向上が期待できる	畜産	大家畜
983	春播きトウモロコシLG3490および「Z-corn112(DH522)」の熊本県における品種特性	畜産	飼料
984	ペレニアルライグラス「夏ごしペレ」は耐暑性に優れる	草地畜産	-
985	阿蘇の寒地型牧草、野草を利用した発酵TMRは褐毛和種去勢肥育牛に利用可能である	草地畜産	-
986	自動体重計測システムの活用により省力的に放牧牛の体重計測が可能である	草地畜産	-
987	人工知能やICT機器の活用により放牧牛の発情予測および位置把握が可能である	草地畜産	-
988	ドローン空撮画像から得られたNDVIによる普通期水稲「ヒノヒカリ」の生育量の推定	アグリ総合	生産情報
989	ドローン空撮画像から得られたNDVIによる普通期水稲「ヒノヒカリ」の収量等の予測	アグリ総合	生産情報
990	日射条件により自動展張する単棟ハウス遮光システムの開発	アグリ総合	生産情報
991	単棟ハウス遮光システムの設置による夏秋トマト栽培ハウス内の環境改善効果	アグリ総合	生産情報
992	いぐさ種子の次亜塩素酸ナトリウム浸漬による発芽率向上技術	アグリ総合	いぐさ
993	除菌剤の拭取りは、畳表の色の变化や磨耗強度に影響を及ぼさない	アグリ総合	いぐさ
994	イチゴ「ゆうべに」は平坦地において9月21日を目安に定植する	アグリ総合	野菜
995	梅雨時期のアスパラガスの品質を保つ収穫後管理	アグリ総合	野菜
996	黒ボク土壌茶園への春先の硫酸マグネシウム施用量は10kg(MgO kg)/10aが適当である	球磨	-
997	カンキツ「熊本EC12」の露地栽培における適正葉果比は100である	果樹	常緑
998	加温栽培ヒリュウ台「肥の豊」の自動点滴かん水同時施肥装置による省力化と施肥量削減	果樹	常緑
999	ナシ「秋麗」の裂果は、裂果発生期前のかん水及びシートマルチにより軽減される	果樹	落葉
1000	カキ「太秋」は、せん定時に陰芽由来結果母枝を多く残すことで翌年の雌花が確保できる	果樹	落葉
1001	カキ「太秋」における条紋由来の汚損発生は、マルチ資材の被覆により軽減される	果樹	落葉
1002	ウンシュウミカンのナシマルカイガラムシは第1世代歩行幼虫の発生時期が予測できる	果樹	病虫化学